

れています。症状が強い場合は、交感神経を活発にする薬を使います。

「パーキンソン病」や「糖尿病性神経症」の症状の一部としてこのめまいが起こることもあります。降圧薬が効き過ぎるなど、薬の影響によってめまいが起こる場合もあります。疑わしいときはすぐに医師に知らせてください。

ぐるぐる回る回転性のめまいは、内耳（耳の奥の器官）にある前庭神経性のめまいです。「良性発作性頭位めまい」「前庭神経炎」「メニエール病」などが代表です。

ぐらぐらする、ゆらゆらするなどふらつきを感じるようなら、体のバランスを感じ取る脳に異変が起こっている中枢性めまいの可能性があります。

それつが回らなかつたり、手足がしごれたりまひを伴つたりする場合はもちろん、頭痛を感じるときなども大至急受診し、CTなどの検査を受けてください。

問題なのは、心室頻拍、心室細動という危険な「不整脈」で

あります。

心拍数が増している場合は、「貧血」、気管支も含めた「肺の病気」、「甲状腺機能亢進症」、そして「心不全」などが疑われます。

胸の痛みや息苦しさをもたらす原因や病気はいろいろあります。大きくは、食道、心臓、肺といつた胸部の内臓由来の痛みと、肋骨や筋肉、神経に原因が

っぱなしの状態になつてゐたため、ガス交換がうまく行われず酸欠になつてゐるのです。

同じくCOPDの一つである「慢性気管支炎」は、気管支に慢性的に炎症があり、息切れだけでなく、痰がたくさん出ます。COPDは障害性の物質を吸い込むことが原因で起ります。中でも喫煙の習慣がある人に多い病気です。治療は、気管支拡張薬、吸入ステロイド、去痰薬などを用いて、生活の質を保持する対策が取られます。

# 胸とおなかの症状



山口内科院長  
山口 泰

## 大事に至る前に 動悸・息切れがする 循環器、呼吸器をチェック

心臓がドキドキと脈打つときは、①心拍数が増しているのか、②脈が乱れているか、③どちらでもなく精神的に過敏になつてゐるのかを調べます。

息切れは、「心不全」など心臓に原因があるケースのほかに、呼吸器疾患が原因となつてゐることも多いのです。代表的なものがCOPD（慢性閉塞性肺疾患）です。少し歩いたり坂道を上ると息切れがする。60歳以上の喫煙者でこんな症状があり、

一度でも激しい痛みが起つたら早めに受診する

胸の痛みや息苦しさをもたらす原因や病気はいろいろあります。大きくは、食道、心臓、肺といつた胸部の内臓由来の痛みと、肋骨や筋肉、神経に原因が

っぱなしの状態になつてゐたため、ガス交換がうまく行われず酸欠になつてゐるのです。

同じくCOPDの一つである「慢性気管支炎」は、気管支に慢性的に炎症があり、息切れだけでなく、痰がたくさん出ます。COPDは障害性の物質を吸い込むことが原因で起ります。中でも喫煙の習慣がある人に多い病気です。治療は、気管支拡張薬、吸入ステロイド、去痰薬などを用いて、生活の質を保持する対策が取られます。

このほか、高齢者を中心に、最近また患者数が増えてきている「肺結核」や「肺炎」も、炎症の範囲が広ければ息切れが生じます。原因に即した治療が大切です。

胸の痛みや息苦しさをもたらす原因や病気はいろいろあります。大きくは、食道、心臓、肺といつた胸部の内臓由来の痛みと、肋骨や筋肉、神経に原因が